



石巻西高実況中継

～学校の情報や生徒の様子をリアルタイムで家庭に届けます～

平成29年10月17日 第45号
発行者：校長 伊藤 俊



－新人大大会支部予選 女子卓球部3冠達成－

スポーツの秋。運動部新人大大会の支部予選が真っ只中です。西高生が頑張っています。県大会団体でここ数年、常にベスト8以上の齋藤訓子監督率いる西高女子卓球部は、今大会でも個人・ダブルス・団体優勝の3冠を達成しました。以前実況中継で紹介したように地域の清掃活動等ボランティアにも積極的に関わったり、練習時間も決して長くなく、休養日も多く取り入れている女子卓球部の活動には、学ぶべき点が多くあると思います。

そのほかにも、弓道部が男子団体2位、女子団体3位、男子個人1、2位と健闘、県大会へ弾みをつけました。この結果におごることなく、もう一度原点に戻って活動してください。

支部総体で優勝し、今大会も優勝候補として臨んだサッカー部はまさかの4位。それでも、初戦の怪我で主将を欠く中、負けはしたものの最終2連戦を0-1、0-1と接戦を演じました。昨年も新人大大会は支部4位から総体優勝でした。この悔しさを総体にぶつけてください。勝負はこれからです。これから運動部の新人大大会がますます本格化していきます。競技・種目に違いがありますが、活動で最も大切なことは共通しています。それは、一人一人の意欲、つまり「やる気」「本気度」です。



〈ハーフタイム内海監督の指示を聞くサッカー部〉
 ○女子卓球部主将2年1組 石森乃愛さん
 私たち女子卓球部は新人戦地区大会で団体優勝・個人優勝・ダブルス優勝の3冠という目標を達成し、個人では数少ない県大会出場枠の中、6人が県大会出場を決めました。今回の地区大会では3冠という喜びとともに、自分たちの反省点がたくさん見つかりました。技術面では試合の組み立て方、精神面では自分に自信を持つこと、「強気」でいることが大切だと感じました。県大会では石巻地区の代表という自覚をもって一戦一戦全力で試合に臨みたいと思います。今回も多くの皆さんに支えていただきました。ありがとうございました。これからも応援よろしく願いいたします。

－演劇部県コンクールまであと一歩も、舞台美術賞受賞－

芸術の秋。文化部の西高生も頑張っています。10月15日(日)石巻遊楽館でおこなわれた、第55回宮城県高校演劇コンクール東部地区大会において、西高演劇部が優秀賞を受賞しました。県のコンクールには最優秀賞と優秀賞一席の二校が出場しますが、本校は優秀賞二席の第3位であと一歩で県コンクール出場を逸しました。ただ、今回は審査員特別賞として「舞台美術賞」を受賞しました。県大会は逸したものの、1位・2位校に遜色ない本校に審査員からいただいた賞だと思います。演劇部は1年生の多い若いチームです。これからが楽しみです。皆さんには無限の可能性が 있습니다。その可能性を信じて、諦めずに粘り強く、頑張れ西高生！私たちはいつも応援しています。

－ICT活用型授業－



文化の秋。2年生の地理の授業。担当は新任の千島真未先生です。パワーポイント・ホワイトボードを用いて、黒板が電子黒板に早変わり。ICT活用です。授業中、生徒はみんないきいき楽しく活動しています。

ICT活用型授業は、映像や音声を使うことができたり、自分の手で複雑な図形を動かして立体的に見ることができたり、五感にうったえを分かりやすい授業が行えます。また黒板に板書するといった時間を短縮でき、効率的です。さらに、五感にうったえをとることで、学習の楽しさが増し、学習に対する意欲が上がるということが期待されています。長時間機材に触れることによる心身の疲労、機材の突然の不具合等、まだまだ課題も少なくありませんが、これからの時代を生き抜く皆さんにとってICT活用は必須のことだと思います。

〈2年生 千島先生地理の授業〉

－国際高校生フォーラム事前指導－

本日の総学から国際フォーラムの事前指導がはじまりました。前年度の要望に応じて、発表英文と訳を用意しました。このように海外の高校生と全て英語によるフォーラムを行っているのは、宮城県、いや被災地3県でも西高だけです。またとない絶好の機会です。積極的に取り組みましょう！